

# 情報基盤向けRDM教材作成状況

@NIIオープンフォーラム2022（2022/5/31）

元木正和（東北大学）

古川雅子（国立情報学研究所）

青木学聡（名古屋大学）

# はじめに

- 第6期科学技術・イノベーション基本計画：「機関リポジトリを有する全ての大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人において、2025年までに、データポリシーの策定率が100%」
- →大学等での研究データポリシーの策定検討開始
  - →組織的RDM推進に向けて必要なものは？
- 図書館のコミュニティでは早くから職員用の教材やマニュアルの整備が進んでいるが、情報系教職員用のものは、、、、まだない。
  - →教材は絶対必要となるので、まず、RDMコミュニティの意識を探りつつ、議論してみよう。
- なお、ここでいう情報系教職員とは、「RDMに関わる情報システムを管理・運用するであろう者。どちらかというツール等の構築側でない者」としています。

# 組織的RDM支援の例

(東北大のポリシーの解説より)

- デジタルプラットフォームの提供等，適切な研究データ管理に資する環境の整備や，機関リポジトリ等の公開プラットフォームの提供等，研究データの利活用を実現するに適した研究データ公開のための環境の整備.
- 本学構成員に対する本ポリシーの内容や上記環境整備に関する周知，本ポリシーに基づく研究データの管理，公開の推進のための啓発，働きかけ及び支援.
- 研究分野の特性や研究データの性質等を踏まえた各部局における具体的な実施方針等の策定.
- 研究データの管理や公開に関して留意すべき法令，契約，本学が定める規程に関する情報提供や教育研修，知的財産の保護や共同研究・研究データの管理・公開等にかかる契約など，法務に関するアドバイス等の提供.

# 情報基盤系スタッフ向けRDM教材制作手法の検討

- 既存の教材を修正して使えらると、時間と労力を節約できる。
- 必要なものは、1) 研究データ管理に関する一般知識、及び、2) 研究者がどのような支援を要求するか、そして、3) その支援内容。
- → 研究者向けの教材を出発点とするのがよさそう。
- → アンケートを実施し、重要項目を客観的に把握する。

(教材制作の詳細：情報基盤系教職員向け研究データ管理 (RDM) 教材の検討・制作, 元木 正和, 古川 雅子, 青木 学聡, 研究報告インターネットと運用技術 (IOT) 2022-IOT-56(15) 1-8 2022年2月28日、  
<http://id.nii.ac.jp/1001/00216663/>

)

# 意見収集とその反映

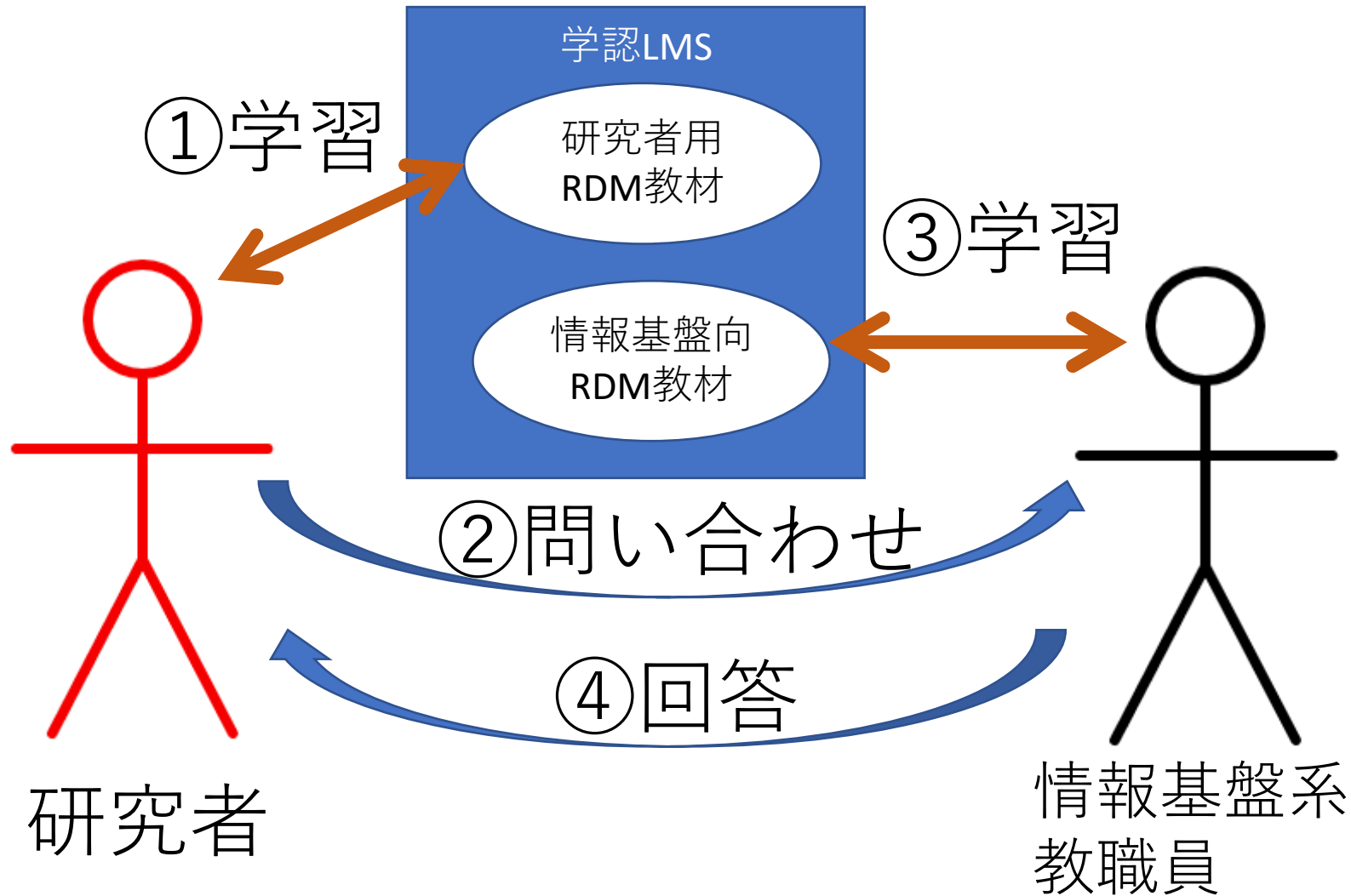
- AXIES、JPCOARの有志にたたき台を確認いただき、意見をいただきました。（千葉大学の小林裕太氏，鹿児島大学の西園由依氏，金沢大学の松平拓也氏，理化学研究所の関進氏，舩本現氏）
- GakuNinRDMを利用し、ファイルに直接修正点等の指摘をしていただきました。

# 情報基盤スタッフ向けRDM教材（5月20日時点）

- 情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメントー概要と背景  
ー（7ページ）
- 研究前 データ管理計画(DMP)の作成（19ページ）
- 研究実施中 研究データの保存（27ページ）
- 研究実施中 データの収集・分析・整理（26ページ）
- 研究後 研究データの公開（12ページ）

# ユースケース (1/4)

(例：DMP作成にあたっての相談)



# ①研究者用RDM教材からの抜粋 (2/4)

申請先の機関が定めるDMPの要件を理解し草稿を作成する

J P C O A R  
オープンアクセスリポジトリ推進協会

## 4.申請先のDMP要件を充たすため利用できるリソースを確認する

- 1.~3.を元に、所属機関からどのような支援を受けられるか情報を収集する
  - 情報インフラの支援  
例：GakuNin RDM、ストレージ、データリポジトリ 等
  - 人的支援  
例：DMP作成支援 等
- 不明点等があれば所属機関の関連部門に相談を
  - 所属機関から直接支援を受けられない場合でも、他に活用できるリソースについて情報を得られる可能性がある
  - 所属機関にリソースの拡充を求めることも検討する

情報基盤系教職員に  
質問がきます！！  
回答準備が必要です。

→関連：「外部資金の取得」 - 「研究助成機関のデータポリシーに対する所属機関の対応改善を働きかける」



# ③情報基盤スタッフ向け教材からの抜粋 (研究者と共通理解必要事項) (3/4)

研究者に求められる行為

データ管理計画 (DMP) とは何かを理解する

AXIES 大学ICT推進協議会

J P C O A R  
オープンアクセスリポジトリ推進協会

## データ管理計画 (DMP) とは

- ・ 研究プロジェクト等における研究データの取り扱いを定めたもの
- ・ プロジェクトで扱うデータの種類、フォーマット、アクセス及び共有のための方針、研究成果の保管に関する計画等を記載する。
- ・ 研究の初期から終了までの間、研究データをどのように生成・管理・共有・保存するかを、研究プロジェクト関係者間で共有するための方法

# ③情報基盤スタッフ向け教材からの抜粋 (情報基盤スタッフ用事項) (4/4)

情報基盤スタッフの データ管理計画 (DMP) とは何かを理解する

AXIES 大学ICT推進協議会 JPCOAR  
オープンアクセスリポジトリ推進協会

## DMPと情報基盤

- DMPには、研究データ管理にの為に利用する情報システムの具体例を求められる場合がある。  
「一般的なDMPの項目例」では以下の項目が該当する。
  - 6. 研究プロセス中の保管とバックアップ
  - 8. 研究プロセス後の保存・管理
  - 9. 公開・提供
- 具体的なソリューションを提示することが、研究者によるDMP作成を円滑に進めることにつながる。

# RDM教材の公開レビュー

- 以下のサイトにて、教材のレビューを実施しています。ご興味ありましたら、よろしく願いいたします。（6月中頃まで）
- <https://drive.google.com/drive/folders/1ULapdLKbIEqFWaogBAItedtUDhGLk7tL?usp=sharing>
- ご意見は、上記ファイルにコメント書き込みか、以下まで。  
<http://wa.rdm-japan.org/>
- 本オープンフォーラム「学認 [教育コンテンツ共有プラットフォーム] LMS」 -- 情報基盤 サイドに求められるRDMスキルと教材」（青木先生）にてRDM教材について別途講演ありますので、ぜひ。

# まとめ

- 情報系基盤系教職員のための研究データ管理（RDM）教材案を、既存の研究者用教材を利用し、アンケート等を実施し作成。
- 作成した教材案について、AXIESとJPCOARの有志に意見いただき、さらにブラッシュアップ中。
- 研究者用RDM教材を基にした問い合わせに対し、もれなく情報基盤系スタッフが回答できるような構成。（研究者用RDM教材の広い網羅性によりRDMに対する研究者の一般的な問い合わせに回答可能なはず。）
- 7月初旬公開予定。（学認LMS化は、早ければ9月予定）